

「こどもがつくるまち・もり・うみ@よしわ」

「こどもがつくるまち・もり・うみ@よしわ」が、令和4年7月31日と8月1日の2日間、吉和福祉センターで開催されました。



写真_1 まちの運営が終わり、達成感いっぱいの子どもたち 写真_2 駄菓子店の様子。種類豊富に取りそろえました 写真_3 コンビニの様子。菓子や弁当を販売しました

◆「こどもがつくるまち・もり・うみ」とは

子ども自らが「まちづくり」や「まちの運営」を疑似体験し、楽しみながら社会の仕組みを学ぶ教育プログラムです。

◆どんなまちを作るか、まち会議で何度も話し合う

まちづくりを担うこども運営メンバーたちは、当日遊びに来る子どもたちが楽しめるように事前に何度もまち会議を開いて、まちのプランを練り、自分

店もまちのルールも、子どもたちが考えました！



の職業を考えて、準備をしました。

◆「いよいよ「まち」がスタート

「まち」には、こども運営メンバーが準備したお店、仕事を探せるハローワークや、銀行などが並びます。当日遊びに来た子どもたちは、お店やまちの施設で働き、もらったお給料で買い物をするなど、市民としてのまちの運営に参加します。

23人のこども運営メンバーに加え、2日間で延べ約200人の子どもたちが、「まち」での楽しい時間を過ごしました。

※この事業は、令和2年度に民間提案制度（市民サービス向上を図るため民間事業者からアイデアなどを募集する制度）により提案された事業です

主催者 株式会社勝谷 代表 ^{はやかわさちえ}早川幸江さんから

「今回は^{こはやしみひろ}小林海洋（阿品台中1年）くんが、こども市長として活躍してくれました。開催当日までの全ての準備に出席し、決まったことの伝達や、大人との意見の調整をしてくれたのでとても助かりました。開催当日は、吉和の爽やかな風が「まち」の中に吹き込み、子どもたちが作り上げたこの「まち」を、より素敵なものに感じさせてくれました。次に開催するときも、お友達と誘い合って参加してもらい、たくさんの子どもたちで楽しい「まち」を作り上げたいです」



早川幸江さん

人のうごき

前月比

総人口	116,313人	(+53)
男	55,958人	(+35)
女	60,355人	(+18)
世帯	52,964世帯	(+67)

(令和4年8月1日現在)



廿日市市は女子野球タウンに認定されています